



みなとしみず



国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所

御前崎港事務所/下田港事務所/田子の浦港事務所

静岡市清水区日の出町7番2号

TEL. 054-352-4146 (代表)

<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

清水港への視察相次ぐ

この夏、多くの方々が清水港を視察されました。

遠くは宮崎県（県工業会川井徳之専務理事他8名）や茨城県（県土木部佐々木宏港湾振興監他3名）、近隣では山梨県（上原勇七甲府商工会議所会頭他20名）、望月義夫衆議院議員とともに富士宮市議団15名、更には、地元の静岡市議団20名も視察されました。

視察では、清水港の概要説明、意見交換を行い、港内の各施設の状況を直接見ていただき、視察者からは「有意義な視察だった」等の感想をいただきました。

視察の目的は、航路開設のための調査であったり、清水港側のポートセールの成果であったりと目的は様々ですが、全国に清水港をPRしている静岡県、静岡市、清水港利用促進協会をはじめとした清水港関係者の努力の成果と考えています。



監督測量船「まさき」による港内視察の様子

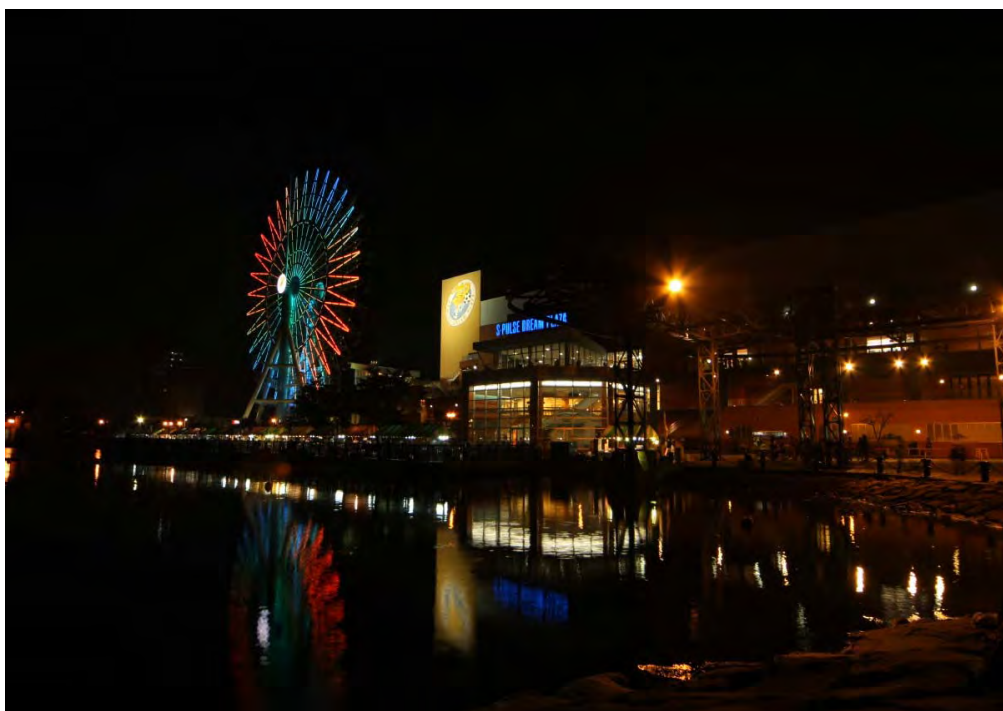
ファインダーの向こう

清水港の新しいランドマークとして観覧車が清水港に整備され、7月20日から営業が始められました。初物と高いところが好きな私も初日に並んで新しい景色を楽しみました。

観覧車は、直径が45mで32基のゴンドラが吊されています。ゴンドラからは、天気が良ければ清水港の向こうに富士山や伊豆の山々を見ることが出来ます。また、夜にはLEDによるイルミネーションが見事です。観覧車は外からは港の景観にアクセントを添えますし、ゴンドラの中からは今までにない視点から清水港を見ることができるところが良いところだと思います。

ところで、観覧車は英語では“Ferris Wheel”と呼ばれています。これは、1893年(明治26年)にシカゴ万国博覧会の目玉施設として建設された現代的観覧車の発明者である土木技術者のジョージ・ワシントン・ゲイル・フェリス・ジュニアの名前にちなむそうです。土木技術者は、いろいろな所で活躍していますね。

皆さんも、清水港にお越しの際には、是非、12分間の空中散歩をお楽しみください。



「清水港観覧車」

Photo : A. Fujii

清水港湾事務所長 藤井 敦

みなとへの想い

御前崎市長 石原 茂雄

マリンパーク御前崎の整備が年々進み、その美しい景観は観光地御前崎の大きな魅力のひとつとなっております。今年の夏は天候にも恵まれ、海水浴場も多くのお客さまでにぎわいました。オートキャンプ場も大勢のみなさまにご利用いただきました。

現在、御前崎港の外国定期コンテナ航路は東南アジアや中国、韓国へ4航路が就航しています。コンテナ取扱量も順調に伸び、自動車部品の輸出入を中心に昨年は5万TEUを超えました。

半年後に開港する「富士山静岡空港」と「御前崎港」そしてそれをつなぐアクセス整備により、この地域は国際物流都市としての期待が膨らんでまいります。



新たに配備された巡視船「ふじ」の前で

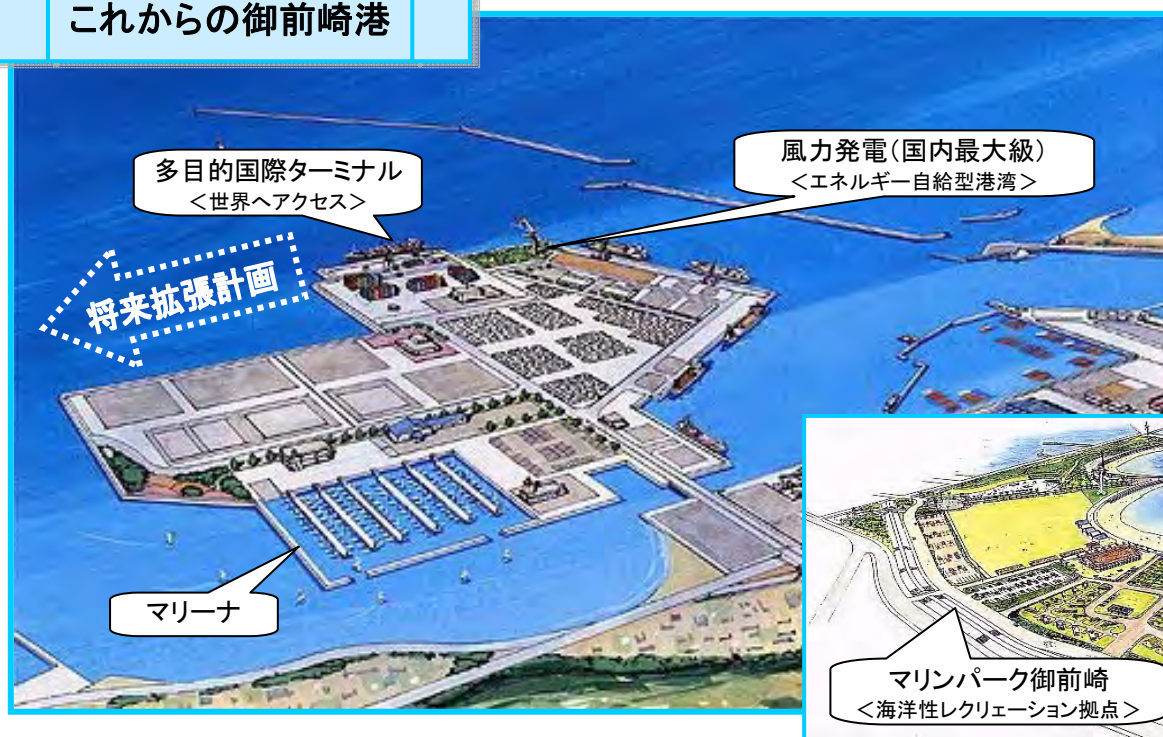


御前崎港に入港する自動車運搬船やコンテナ船

さて、美しい海岸線や豊かな山海の恵み、温暖な気候など恵まれた環境にある御前崎市では荒廃農地の再生や特産品開発、防風林への植樹などに市民みんなで取り組んでいます。わがまち御前崎を少しでも良くしようとはじめた「マナーモデル運動」への取り組みも3,000人を突破し、訪れる人々を迎え入れる心構えが整ってまいりました。

ふるさと御前崎の魅力を再発見し市民力を世界へ示そう、元気なみなとまち御前崎を発信していこうと市民の英知を結集して「世界へ開かれたきらりと光るまち」を目指しています。

これからの御前崎港



袖師臨港道路の交通量調査を実施

臨港道路とは、港と背後を結んだり、港内の施設を繋ぐ道路のことです。

清水港の「袖師臨港道路」は、昭和50年（1975年）に全線開通し、エスパルスドリームプラザの北にあるストックトン橋から、国道1号の清見寺付近までを結んでいます（図-1）。清水港の物流と地域の生活道路として、現在も非常に多くの利用があり、とても重要な港湾施設のひとつです。

この度、この袖師臨港道路の交通状況を把握するために、交通量調査を行いました。

調査の結果、今まで把握できていなかった袖師ふ頭と興津ふ頭間のコンテナ車両が昼間12時間で約1,900台（1時間で約160台）往来していることや、1日の交通量は29,000～37,000台あり、国道1号と同程度ということがわかりました（図-2）。

引続き調査を行い、データを蓄積して清水港周辺の道路交通に関する諸課題への対応に関する基礎資料として、有効に活用していきたいと考えております。

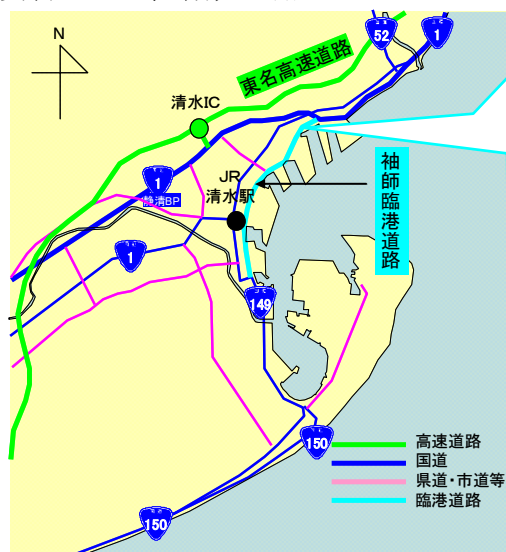


図-1 袖師臨港道路の場所

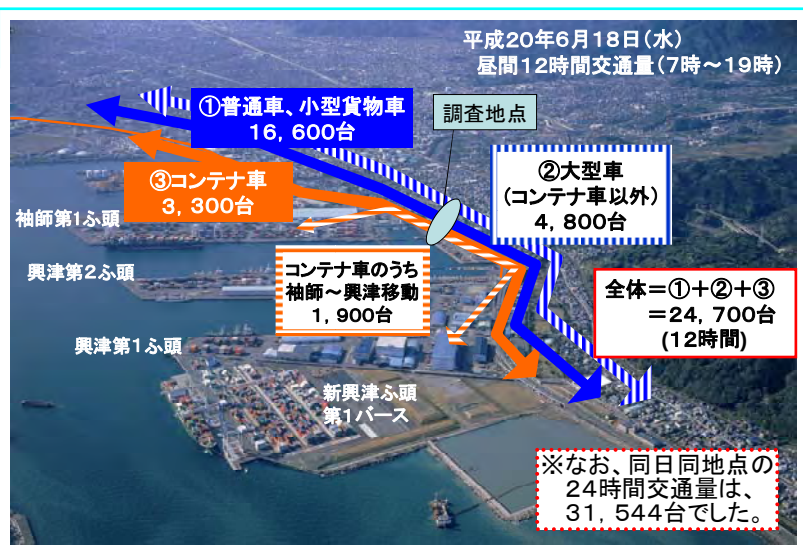


図-2 袖師臨港道路の交通量概況

「先生のための学習支援講座」が開催されました

平成20年8月20日（水）に、小中学校の先生方を対象に、「先生のための学習支援講座」が、静岡市と（社）中部建設協会の主催で開かれました。

この講座は、身近にある川や橋、港などの社会資本を活用した総合学習などの指導方法を紹介するもので、寺本潔愛知教育大学教授や篠原正人東海大学教授を講師にお招きし、体を使った橋の仕組の説明や、港湾の役割をどのように子供に学ばせるのかについて講義がありました。

参加した先生方からは、「社会資本を授業に取り上げる方法について、学ぶことができた。今後の授業に取り入れたい。」といった感想がありました。

当事務所でもこのような取り組みに積極的に協力していきたいと思います。



東海大学海洋学部教授 篠原正人 氏
港湾の役割ほか、船の種類や港に関わる仕事についてもお話いただきました。

（社）清水建設業協会が「親子現場見学会」を開催

子供達に建設業の魅力を知ってもらおうと、（社）清水建設業協会が親子現場見学会を開催しました。

清水区三保にあるケーソン製作場では、製作中のケーソン（防波堤に使う鉄筋コンクリート製の大きな箱）の前で、ケーソンの製作から防波堤据え付けまでの説明がありました。

現場で親子を出迎えた、高さ11mのケーソンには、「ベェズ」のぬりえが用意されており、親子一緒にペンキで色を塗ったり、記念に名前を書いたりしました。

現場見学に続き、当事務所の監督測量船「まさき」による港内見学が行われ、参加した親子からは、「工事現場を歩いたり、船から清水港を見たりして、普段できない体験ができ、とても充実した時間を過ごすことができた。」と感想がありました。



親子14組32名の参加があり、ケーソン（コンクリートの箱）2箇所に「ベェズ」を描きました。

本番さながら！展示訓練

平成20年8月2日(土)に、清水みなと祭りの一環として、清水港沖合において、展示訓練が実施されました。

訓練には、当事務所の監督測量船「まさき」を含め、海上保安庁、静岡県警、消防等の船艇7隻と航空機3機、更に清水港に在籍するタグボート5隻が参加し、高速連携訓練や漂流者吊り上げ訓練、放水訓練など、本番さながらの迫力ある訓練が行われました。

体験航海中の横浜海上保安部所属の巡視船「やしま」の乗客約1,000人が訓練の様を見学し、乗客は目の前で展開される種々の訓練に見入っていました。

中でも、漂流者(防災航空隊隊員)1名をヘリコプターで救助する漂流者吊上げ訓練では、海上で溺れている漂流者が無事に救助されると、巡視船「やしま」からは大きな歓声と拍手が沸き起こりました。

海の安全を守るためには、関係機関との連携が不可欠であり、当事務所でも積極的に訓練に参加していきたいと思います。



巡視船「やしま」では、展示訓練のほか、海に飛び込む実演や、潜水服や酸素ポンペを身につける体験などの催しがありました。

(写真提供:清水海上保安部)

港うお(魚)ツチャー

サーフランナー 編



浜は朝から大賑わいだ、ほら？この時期はさあ、



わかった、青物だ。サバでしょ、アジでしょ、そしてソウダガツオ。



ワカシ(ブリの幼魚)、カンパチも忘れちゃいけないね。

いずれも浜のスピードランナーで釣り味も超タマンナイ、凄い切れ味で持って行かれるよ。バテる場合じゃないでしょ～が、ほら。



おかげさまでアドレナリンが出て参りました。どうやって釣りましたよ？



メタルジグっていうルアーでの釣りが一番手軽でおすすめかな。

小魚に似せた棒状の金属製ルアーで、沈めて上下にあおりキラキラさせながら誘ったり、早巻きするとジグザグに泳ぎ、ターゲットをその気にさせちゃうのさ。連続ヒットで上腕二頭筋に乳酸ためてみないかい？



そんな事いわれて僕がその気になってきちゃったよお、サバの竜田揚げにロックオンだ。



それじゃあ例によって三保に行こうよ。灯台周辺で Let's enjoy fishing!!



マルソウダガツオ (全長 40cm)



ワカシ (全長 45cm)

今年もやって
きましたよ！

清水港マグロまつり

日時 平成20年10月12日(日)
9:00～16:00

場所 清水駅東口イベント会場 ほか
お問い合わせは・・・静岡市清水港振興課
TEL054-354-2044

帆船日本丸がやってくる！

日時 平成20年10月17日(金)～21日(火)

場所 清水港日の出ふ頭

お問い合わせは・・・静岡市清水港振興課
TEL054-354-2432

※天候等により、日程が変更する場合がございます。
あらかじめご了承ください。

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル
おーい によくなれ みなと

0120-497-370

受付時間:9時～12時、13時～17時(土・日、祝祭日は除く)
☆携帯電話からもご利用いただけます☆

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは
何でもお問い合わせください

■本誌に関するお問い合わせ先■

清水港湾事務所 企画調整課
太田・屋敷

Tel 054-352-4148

e-mail

shimizukouwan@pa.cbr.mlit.go.jp